

令和7年度 燕・弥彦総合事務組合水道事業会計予算概要

令和7年度は、統合浄水場建設や送配水管整備の完了などによる建設改良費が減額となり、事業財源となった企業債償還金が増額となりました。

大きな建設投資が完了したことから、現在作業中の「水道ビジョン・経営戦略策定業務委託」の中で、今後の経営方針を定めて参ります。

令和7年度の予算規模

総事業費 **37 億 7,239 万 5 千円**

水道水をつくるための予算（収益的収支）【消費税及び地方消費税込み】

収入 **22 億 7,562 万 3 千円**

() 内は構成比



◆令和6年度と比較して、人口減少に伴う水道料金の減少や、その他の収益（消費税還付金）の減少により、17億2,236万9千円（43.1%）の減額を見込みました。

支出 **26 億 4,823 万 1 千円**



◆令和6年度と比較して、特別損失（既存浄水場の除却費等）の減少により8億8,176万2千円（25.0%）の減額となります。

水道施設をつくるための予算（資本的収支）【消費税及び地方消費税込み】

収入 **8,580 万 9 千円**

() 内は構成比



◆令和6年度と比較して、統合浄水場建設や送配水管整備の完了などによる財源（補助金・企業債）の皆減で、7億1,861万7千円（89.3%）の減額となります。

支出 **11 億 2,416 万 4 千円**



※収支不足額10億3,835万5千円は、減価償却費や積立金など内部留保された資金で補てんします。

◆令和6年度と比較して、浄水場施設再構築事業に係る企業債償還金は増加しますが、統合浄水場建設や送配水管整備の完了などにより、8億8,462万2千円（44.0%）の減額となります。

令和7年度の主な建設事業

●他工事関連工事（大河津分水路改修、下水道工事、土木工事関連）

予算額 1 億 9,410 万 8 千円

●老朽管路更新事業（令和6年度繰越分）

重要給水施設※管路耐震化事業 6.0 km

7 億 9,600 万 0 千円

(国からの交付金2億615万円を活用)

※重要給水施設

地震等の災害時に特に給水が必要な施設（避難所、医療機関、防災拠点等）として水道事業体が設定する施設のことをいいます。水源から重要給水施設を結ぶ管路を重要給水施設管路といい、優先的に耐震化を行う必要があるといえます。



【配水管（耐震管）布設状況】

浄水場施設運転管理業務委託

委託期間：令和7年度から令和26年度まで（20年間）

予算額 5 億 248 万 3 千円

●委託内容

DBO方式※により選定された燕市・弥彦村浄水場施設再構築事業の受注者が設立した特別目的会社（SPC）「つばめ・やひこウォーターサービス株式会社」に、統合浄水場の運転・維持管理業務を包括的に委託します。民間の技術力・運営手法を活用して、抜本的な管理体制の強化を図り、より安全で安心・安定した水の供給を目指します。

●内訳

・運転管理・保守点検・修繕等	97,301千円
・電気・薬品・燃料等調達管理	283,028千円
・発生土管理・処分	24,825千円
・水質管理他	97,329千円



【膜ろ過装置】

※DBO方式

水道施設の設計、施工、保守、維持管理を民間事業者のノウハウを活用して包括的に実施する事業方式のことで、デザイン・ビルド・オペレート（Design-Build-Operate）といいます。



【統合浄水場】

●業務の予定量（第2条）

区 分	令和7年度	令和6年度	比 較		
(1) 給 水 戸 数	39,672 戸	39,677 戸	△ 5 戸	0.0%	
(2) 年 間 配 水 量	11,665,000 m ³	12,306,000 m ³	△ 641,000 m ³	△ 5.2%	
(3) 一 日 平 均 配 水 量	31,959 m ³	33,715 m ³	△ 1,756 m ³	△ 5.2%	
(4) 主 要 な 建 設 改 良 事 業	0 千円	1,529,337 千円	△ 1,529,337 千円	皆減	
浄水場施設再構築事業	0 千円	177,248 千円	△ 177,248 千円	皆減	
老朽管路更新事業	0 千円	1,352,089 千円	△ 1,352,089 千円	皆減	

●収益的収入及び支出（第3条）

収 入

（単位：千円、％）

年 度 款 項	令和7年度		令和6年度		比 較		主な増減内容
	予定額	構成比	予定額	構成比	増減額	増減率	
第1款 水道事業収益	2,275,623	100.0	3,997,992	100.0	△ 1,722,369	△ 43.1	
第1項 営 業 収 益	1,906,744	83.8	1,992,360	49.8	△ 85,616	△ 4.3	給水収益の減 （前年△88,745）
第2項 営 業 外 収 益	365,027	16.0	1,983,573	49.6	△ 1,618,546	△ 81.6	浄水場施設再構築事業の精 算による消費税還付金の減 （前年△1,850,000）
第3項 特 別 利 益	3,852	0.2	22,059	0.6	△ 18,207	△ 82.5	既設浄水場除却に伴う長期 前受金戻入益の減 （前年△22,057）

支 出

（単位：千円、％）

年 度 款 項	令和7年度		令和6年度		比 較		主な増減内容
	予定額	構成比	予定額	構成比	増減額	増減率	
第1款 水道事業費用	2,648,231	100.0	3,529,993	100.0	△ 881,762	△ 25.0	
第1項 営 業 費 用	2,513,034	94.9	1,725,858	48.9	787,176	45.6	統合浄水場施設の供用開始 に伴う減価償却費の増 （前年+672,013）
第2項 営 業 外 費 用	127,915	4.8	29,697	0.8	98,218	330.7	企業債償還利息の増 （前年+68,380）
第3項 特 別 損 失	4,182	0.2	1,771,338	50.2	△ 1,767,156	△ 99.8	既設浄水場除却費の増 （前年+1,722,241）
第4項 予 備 費	3,100	0.1	3,100	0.1	0	0.0	—

●資本的収入及び支出（第4条）

収 入		(単位：千円、%)						
款 項	年 度	令和7年度		令和6年度		比 較		主な増減内容
		予定額	構成比	予定額	構成比	増減額	増減率	
第1款 資本的収入		85,809	100.0	804,426	100.0	△ 718,617	△ 89.3	
	第1項 企 業 債	0	0.0	476,700	59.3	△ 476,700	皆減	浄水場施設再構築事業等に係る企業債の減
	第3項 負 担 金	85,809	100.0	14,375	1.7	71,434	496.9	工事負担金の増
	第4項 補 助 金	0	0.0	313,351	39.0	△ 313,351	皆減	生活基盤施設耐震化等交付金の減

支 出		(単位：千円、%)						
年 度 款 項		令和7年度		令和6年度		比 較		主な増減内容
		予定額	構成比	予定額	構成比	増減額	増減率	
第1款 資本的支出		1,124,164	100.0	2,008,786	100.0	△ 884,622	△ 44.0	
	第1項 建設改良費	292,741	26.0	1,777,805	88.5	△ 1,485,064	△ 83.5	統合浄水場建設工事費等の減
	第2項 企業債償還金	831,423	74.0	230,981	11.5	600,442	260.0	企業債償還元金の増

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,038,355千円は、減価償却費や積立金などの内部留保資金で補てんします。

●債務負担行為（第5条）

次のとおり債務負担行為を設定いたします。

●上下水道料金等徴収業務及び給水関連等業務委託

限度額 701,250 千円 【令和8年度から令和12年度まで】

●一時借入金（第6条）

一時借入金の限度額 3,000,000 千円

●予定支出の各項の経費の金額の流用（第7条）

各項に計上した予定額に過不足を生じた場合における、同一款内でのこれらの経費の各項間の流用

●議会の議決を経なければ流用することのできない経費（第8条）

職員給与費 188,803 千円

●たな卸資産購入限度額（第9条）

たな卸資産の購入限度額 37,207 千円